



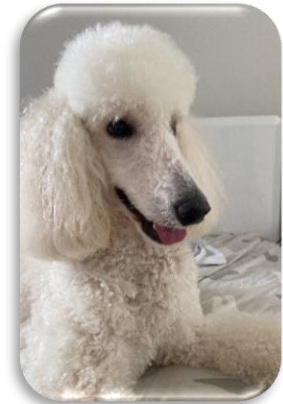
## かいじょ 介助犬バニラちゃんについて

梶谷光恵

私が、かいじょ 介助犬を飼いたいと思ったきっかけは、もうどう 盲導犬を連れてくる人を見た時に、ユーザーさんがもうどう 盲導犬と楽しそうに歩いていたのを目にしたことです。私は、車いすにの 乗っているというだけで沢山のひとと視線が合います。それは、「何もわるいことをしていないのに」とつらく感じる時があります。そんな時に、もうどう 盲導犬と暮らしている方から、「犬が居るだけで、色々な安心感があるよ。チャレンジしてみたら?」と教えてもらい、かいじょ 介助犬と暮らしたいと思い、決めました。

### ほじょ ★補助犬には★

- ① かいじょ 盲導犬...目の見えない人のサポートを行う。
- ② かいじょ 聴導犬...耳の聞こえない人のサポートを行う。
- ③ かいじょ 介助犬...身体の不自由な人のサポートを行う。



の3種類があります。

### ★介助犬と暮らすための条件★

- ① 身体障害者手帳を持っている18歳以上の人
- ② 犬に対して、責任と愛情を持って関わる事が出来ること



の2つがあります。特に②が大切です。介助犬は、「お仕事をする犬」です。ただ「可愛い」だけでは一緒に生活は出来ません。また、ロボットではない大切ないのち 命があります。自分と同じように、大切に生活できる気持ちが必要でひつす 必須です。

介助犬といっても、写真の通りバニラの犬種はスタンダードプードルです。スタンダードプードルは、ゴールデンレトリバーに比べ体重が軽く、毛が抜けにくいのです。なので、飼い主がブラッシングや歯磨き、月に一度トリミングに連れて行く必要があります。また、北海道では雪による汚れが目立つので、対策をしなければなりません。

### ★介助犬と一緒に暮らすまでの道のり★

#### ① 介助犬協会を探す

なんと、北海道には介助犬協会がありません...。ですから、まずは介助犬協会を探すところから始まります。私は、一番最寄りの神奈川県にある「神奈川県介助犬・聴導犬協会」さんにお世話になっています。



## ②飼主としてふさわしいかどうか、面談をする

実際に協会の人へ書類などを提出し、お話をします。北海道で決められている補助犬の助成金だけで介助犬と生活が出来たわけではありません。犬を迎えるにあたりかかるお金の話や、身の回りのお世話はどう行うか、今住んでいる家の中を見てもらい、介助犬が来て一緒に暮らすことが出来るかを判定してもらいます。

## ③候補の犬が見つかったら、相性をみてもらい、問題が無ければ合同訓練をはじめます。

身体障害者補助犬法という国の法律で、合同訓練は40日以上行うことが決められているので、訓練を行います。訓練内容は

①基礎訓練～合図をしたら来る、座る、伏せる、待つ、歩く、など

②介助動作訓練～落ちたものを拾う、ドアの開閉など



の大きく2つを一緒に訓練します。介助犬となったら、色々な人が居る場所や乗り物と一緒に行くので、特に基礎訓練がしっかりできないと周りの人へ迷惑をかけてしまうかもしれません。なので、訓練は何度も繰り返し行います。このほかにも、一緒に寝泊まりをして犬の扱い方や健康管理について学びます。

そして・・・認定試験を受けて、合格すると介助犬に正式になることが出来ます！



## ★最後に★

ここまで見ると、介助犬と暮らすことについて難しく感じるかもしれません。ですが、介助犬と共に生きていくことは、本当に素晴らしいことであると思います。バニラと関わるようになり、一番変わったのは私自身だと思います。介助犬といっても、バニラは犬なので、人と人の関係性をよく見ているし、遊びたくて仕方ない時もあります。バニラを飼うことで、自分の身支度の次は、バニラの支度をしなければならぬし、行く場所によって、気をつけなければならぬことが変わったりします。ですが、バニラと居ると心が温かいです。これは、人から得られるものとはちがうと気づきました。バニラは、私の心のサポートもしてくれます。体調が悪く寝ている日は、バニラも私のそばで寝ています。“そばにいてくれる”ということは、何か言葉をかけてもらうよりもすごく元気になれることだと、バニラは教えてくれました。これからバニラが介助犬になったら、もっと沢山楽しい事や、色々な場所へ一緒に行きたいです。そして、補助犬の魅力をもっと多くの人に知ってもらい、私達の役目として伝えたいと思います。